

令和2年9月9日

東京都剣道道場連盟
各団体責任者様

東京都剣道道場連盟
会長 中村福義 公印略

「第20回東京都少年剣道学年別個人錬成大会」中止のお知らせ

拝啓

暦の上では立秋が過ぎたとは言え、未だ暑い日が続く今日この頃、残暑お見舞い申し上げます。平素は当連盟に対するご鞭撻、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。稽古を再開された団体においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、「3密」対策を配慮しながらの大変な思いで稽古をされておられることと存じます。なかには、全く稽古らしき稽古が出来ず、素振りだけの稽古をされている団体もあると聞き及んでいます。一日も早い新型コロナウイルスの終息を心から願ってやみません。

さて、表題の件「第20回東京都少年剣道学年別個人錬成大会」につきましては、次の理由により中止することと致しました。

- ① 東京都のイベント等のガイドラインでは、収容施設の50パーセントの人数制限がありますが、開催予定の「エスフォルタアリーナ八王子」は八王子市独自の体育館使用ガイドラインが設定されております。そのガイドラインによりますと、エスフォルタアリーナメインの利用人数は170名、観覧席200名、また館内の空気の入替え、消毒も厳しく決められております。八王子市のガイドラインに基づいて大会を開催しますと、役員、審判員、係員を70名とした場合、参加選手は100名規模に制限しての大会運営をしなければなりません。例えば、小学1・2年生の参加者を100名にして試合を行い、試合が終了した後は45分から1時間内に選手、観覧席の総入れ替えを行い、空気の入替え、館内の消毒を行った後、次の小学3・4年生100名の選手の試合を行うこととなります。この方法で大会運営をした場合、全学年の試合を全て終了することは相当の時間を費やすこととなり、一日で大会を終了することが出来ません。
- ② 本大会は加盟団体への参加人数の制限を設けておりません。体育館の利用人数制限が100名ですので、加盟団体数140団体に対して100名にするには、出場団体ごとに調整することになり、調整すれば出場できない選手が出てくることとなります。本学年別大会開催の目的、主旨は道場に通う全少年少女剣士が参加することであり、制限することによりその目的・主旨に添わなくなります。
- ③ 第2波や感染者の高止まりの日々が続いている現在、東京都の感染状況や、高校・大学の体育学部のクラスターの発生を鑑みたところ、このような状況下において大会を開催し、本連盟がクラスター及び第二波の感染に起因した場合、参加した少年少女剣士、御父母、加盟団体、役員等の関係者に多大なご迷惑を及ぼすこととなります。よって健康・安全面を第一に考慮することに致しました。

以上が本大会を中止にした理由、主旨です。

開催を心待ちにし、楽しみにして下さった皆様には、多大なご迷惑をお掛け致しますが、何卒中止しました主旨のご理解を頂きますようお願い申し上げます。

選手の皆様は、試合が出来なかった悔しさを胸の中にグッと押し込み、次期の大会にその悔しさを思い切り吐き出して、自分にとって素晴らしい大会になるように、それまで暑さ寒さに負けないように厳しい稽古に励んで下さい。

一日でも早くコロナ感染が終息し、会員皆様と一致団結して稽古や大会が行われることをご祈念申し上げます、ご連絡と致します。

敬具